

3－3 房総半島東部の5月中旬の地震活動

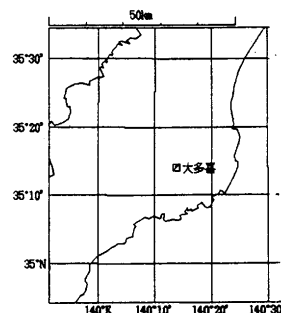
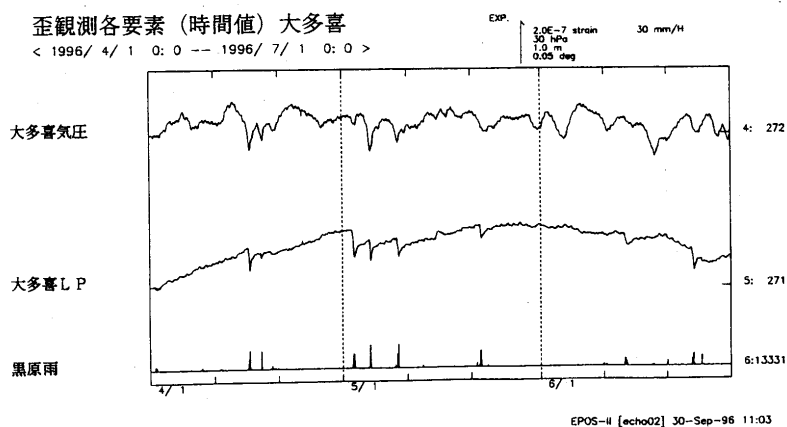
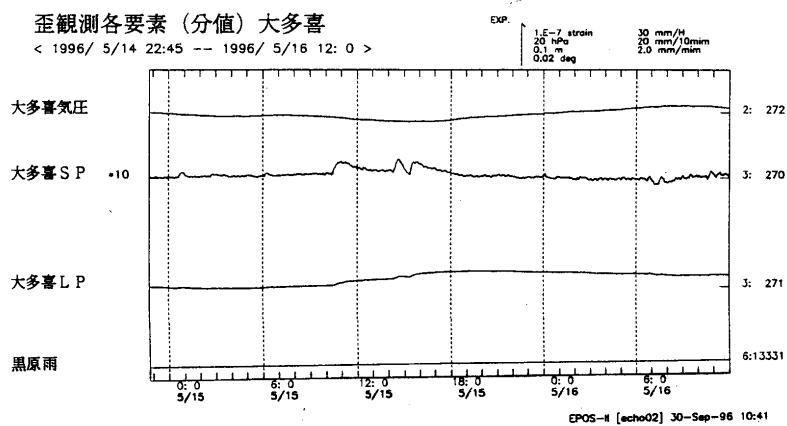
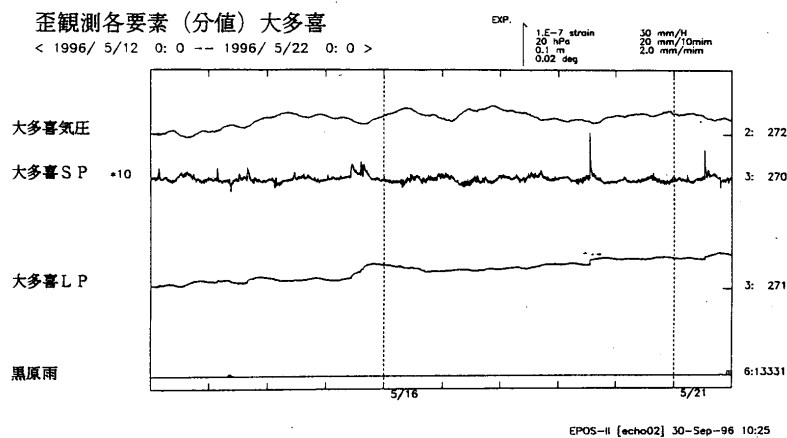
Seismic activity in the east of the Boso Peninsula in the middle of May, 1996.

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

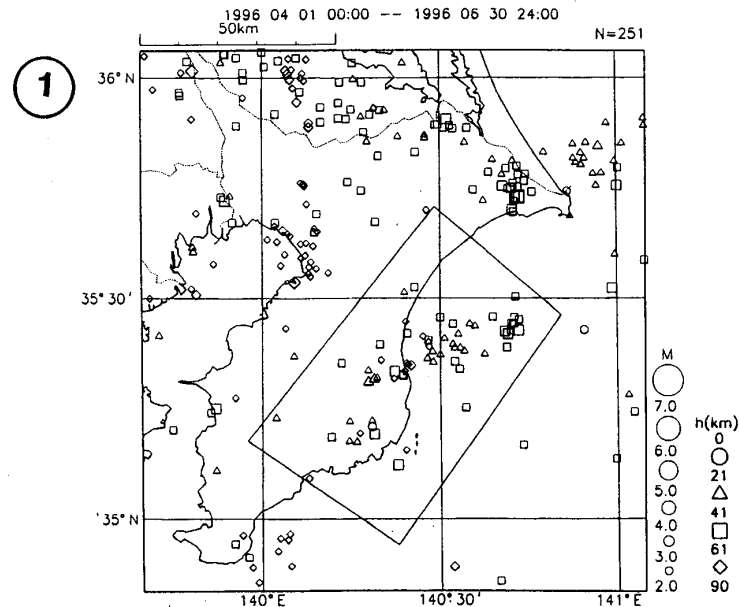
第1図(a)と(b)はそれぞれ1996年4月～6月と1994年8月～1996年7月のM2以上の地震の震央分布と矩形領域内の地震回数積算図である。地震活動が1か月ほど前から停滞した後、5月中旬から小さな地震が多発している。その時期の房総半島の大多喜の体積歪計の記録を第2図に示す。5月15日から16日にかけて、LPに伸びの変化がみられ、この時期に降雨はないが、シグナルとも判断がつかないので、ここでは記録の紹介にとどめておく。



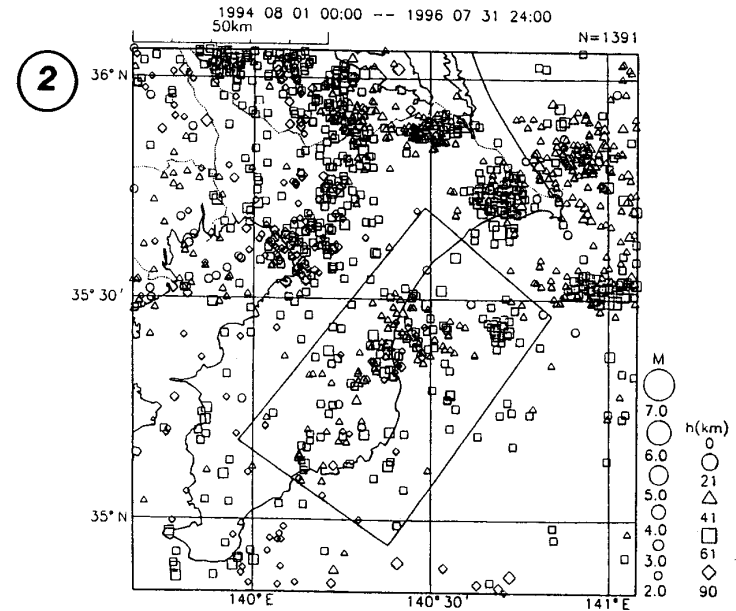
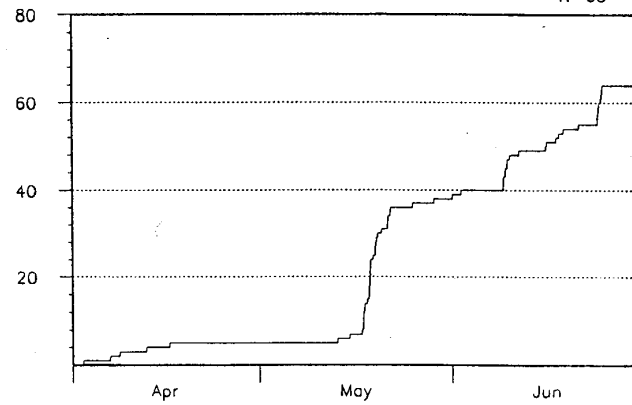
第1図 房総半島東部の地震活動。(a)1996年4月～6月の震央分布($M \geq 2$)と4角の領域内の地震回数積算図。(b)1994年8月～1996年7月。

Fig.1 Seismic activity around the eastern Boso Peninsula. (a)Epicentral distribution ($M \geq 2$) and cumulative numbers of the earthquakes in the quadrangular area for the period from April through June, 1996. (b)For the period from August, 1994 through July, 1996.

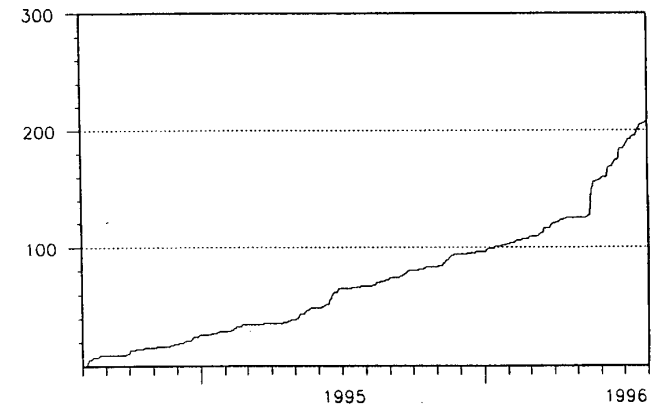
房総半島東部の地震活動



1996 04 01 00:00 -- 1996 06 30 24:00 N=65



1994 08 01 00:00 -- 1996 07 31 24:00 N=207



第2図 大多喜における体積歪計の変化

Fig. 2 Variation of the volumetric strain at the Ohtaki station.